安全データシート

National Institute of Advanced Industrial Science and Technology
AIST

１．化学物質等及び会社情報

法人名　：国立研究開発法人産業技術総合研究所
住所　：東京都千代田区霞が関 1-3-1
担当部門　：計量標準総合センター　計量標準普及センター　標準物質認証管理室
担当者　：認証標準物質担当
電話番号　：029-861-4059　　ファックス番号　：029-861-4009
緊急連絡電話番号　：同上

作成日　：2014 年 12 月 25 日
改正日　：2015 年 4 月 1 日
整理番号　：8152001

化学物質等の名称　：認証標準物質　NMIJ CRM 8152-a
ポリ塩化ビニル（フタル酸エステル類分析用）
(Polyvinyl Chloride(Phthalate Esters in PVC Resin Pellet))

推奨用途及び使用上の制限　：本標準物質は、ポリ塩化ビニル樹脂中のフタル酸エステル類の分析にあたって分析機器または計測の精度管理および計測法の妥当性確認に用いることができる。試験・研究用以外には使用しないこと。

２．危険有害性情報の要約

ＧＨＳ分類：　急性毒性（経口）　：区分４
急性毒性（経皮）　：区分４

ＧＨＳラベル要素：

注意喚起語：　警告

危険有害性情報：　飲み込むと有害
皮膚に接触すると有害

注意書き：　［安全対策］
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
試験・研究用以外に使用しないこと。
取り扱い後は手をよく洗うこと。
この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
［応急措置］
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合、多量の水で洗うこと。異常があれば医師の診断を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
［保管］

アルゴンガス封入後、遮光・密封状態で 35 ℃以下の清浄な場所に保管すること。
天地無用。
［廃棄］
関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。

上記で記載が無い危険有害性は分類対象外または分類できない。

３．組成、成分情報

単一製品　混合物の区別　　：混合物
・成分１
　化学名　　：ポリ塩化ビニル
　含有量　　：約 79%
　官報公示整理番号　　化審法：（6)-66
　CAS 番号　　：9002-86-2
・成分２（可塑剤）
　化学名　　：アセチルクエン酸トリブチル（ATBC）
　化学式又は構造式　　$C_{20}0H_{34}O_8$
　含有量　　：約 12%
　官報公示整理番号　　化審法：（2)-1327
　CAS 番号　　：77-90-7
・その他成分（添加剤）
　含有量　　：　約 8%
　　ただし次の物質を含む
　　ステアリン酸亜鉛、ステアリン酸カルシウム複合品（安定剤）約 5.6 %
　　エポキシ化大豆油（熱安助剤）約 1.6%
　　メタクリル酸アルキル､アクリル酸アルキル･スチレン共重合体(加工助剤) 約0.8%
　　アジピン酸ジペンタエリスリトールポリマーのステアレート(滑剤)約 0.4%
　　フタル酸ジメチル　約 0.1%
　　フタル酸ジエチル　約 0.1%
　　フタル酸ジ(n-ブチル)　約 0.1%
　　フタル酸ジ(i-ブチル)　約 0.1%
　　フタル酸ジシクロヘキシル　約 0.1%
　　フタル酸ジ(n-オクチル)　約 0.1%
　　フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)　約 0.1%
　　フタル酸ブチルベンジル　約 0.1%
　　アジピン酸ジ(2-エチルヘキシル)　約 0.1%

４．応急措置

眼に入った場合　　：清浄な水で十分に洗い流す。医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合　：多量の水で洗うこと。異常があれば医師の診断を受けること。
　　汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
吸入した場合　　：空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努める。医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合　：口をすすぐこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
予想される急性症状及び遅発性症状　：－
最も重要な特徴及び症状　：－
応急処置をする者の保護　：－

５．火災時の措置

消火剤　：初期消火として粉末、二酸化炭素、粉末消火設備、器具で消火する。水溶性液体用泡消火剤（耐アルコール泡）、二酸化炭素、粉末、砂、水。
火災時の特有危険有害性　：燃焼すると有毒なガスを発生する可能性がある。
特有の消火方法　：火元の燃焼源を断ち、消火剤を用いて消火する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。移動不可能な場合には周辺を水噴霧で冷却する。
消火を行う者の保護　：消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。防火服、耐熱服、防護衣、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、ゴム手袋、ゴム長靴等の保護具を使用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項　：付近の着火源となるものを速やかに取り除く。着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
保護具及び緊急時措置　：屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵、ガスを吸入したりしないようにする。
環境に対する注意事項　：漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。
回収、中和　：漏出した製品は、空容器に回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流す。
二次災害の防止策　：漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。風上から作業して、風下の人を退避させる。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い
技術的対策　：強酸化剤との接触を避ける。
局所排気・全体換気　：蒸気やミストが発生する場合は、発生源を密閉し局所排気装置を設置する。
安全取扱注意事項　：容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。
使用後は容器を密閉する。
取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。
休憩場所では手袋その他汚染した保護具を持ち込んではならない。
取扱い場所には関係者以外の立ち入りを禁止する。
吸い込んだり、目、皮膚及び衣類に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。
屋内作業場における取扱い場所では、局所排気装置を使用する。

保管

適切な保管条件　：アルゴンガス封入後、遮光・密封状態で 35 ℃以下の清浄な場所に保管すること。
天地無用。

安全な容器包装材料　：ガラス

８．暴露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない

許容濃度（物質名）ポリ塩化ビニル

- ACGIH　TLV-TWA　：　1 mg/m^3 respirable fraction
- 日本産業衛生学会勧告値　：　設定されていない
- OSHA PEL TWA　：　設定されていない

許容濃度（物質名）アセチルクエン酸トリブチル（ATBC）

- ACGIH　TLV-TWA　：　設定されていない
- 日本産業衛生学会勧告値　：　設定されていない
- OSHA PEL TWA　：　設定されていない

設備対策

換気・排気　：局所排気装置又は全体換気装置。
安全管理・ガスの検知　：測定器、検知管。
貯蔵上の注意　：床面に沿って換気。密封。可燃性及び還元性物質、強酸化剤から離しておく。

保護具

呼吸器の保護具　：防塵マスク
手の保護具　：保護手袋
目の保護具　：側板付き保護眼鏡（必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡）
皮膚及び身体の保護具　：保護衣

衛生対策

産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱うこと。

９．物理的及び化学的性質

- 外観等　：　ペレット
- 色　：　灰白色
- 臭い　：　データなし
- pH　：　データなし
- 融点　：　データなし
- 沸点　：　データなし

・引火点　：　データなし
・爆発範囲　：　データなし
・蒸気圧　：　データなし
・相対蒸気密度（空気 ＝ 1）　：　データなし
・比重又は嵩比重　：　データなし
・溶解度　：　水には不溶。ほとんどの有機溶媒に不溶であるが、シクロヘキサノン、テトラヒドロフランおよびニトロベンゼンに溶ける。
・n-オクタノール／水分配係数 log Po/w　：　データなし
・自然発火温度　：　データなし
・分解温度　：　データなし
・燃焼性　：　データなし

10. 安定性及び反応性

◇安定性
・通常条件で安定である。
◇反応性
・通常条件で安定である。
◇避けるべき条件
・日光、熱、酸化剤との接触
◇危険有害な分解生成物
・一酸化炭素、二酸化炭素、ハロゲン化物

11. 有害性情報

急性毒性（経口）　ポリ塩化ビニル：LD50(ラット)　2000mg/kg以上
添加剤中成分(エポキシ化大豆油、約1.6%)のLD50(ラット)22.5ml/kg より区分４とした。
急性毒性（経皮）　添加剤中成分(エポキシ化大豆油、約1.6%)のLD50(ウサギ)20 ml/kg より区分４とした。

※有害性情報については、混合物としての情報がないため、原材料の情報より作成しています。本製品は通常の条件下では安定であり、有害な添加剤成分が溶出する等の危険はありませんが、高温下での使用など特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を行ってご使用ください。

12. 環境影響情報

分解性・濃縮性
・データなし
生態蓄積性
・データなし
生態毒性
・データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　：　排ガス処理装置付きの所客設備（800℃以上）にて焼却、または非危険廃棄物として埋め立てる
廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の条例に従うこと。
上記方法による処理ができない場合は都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

汚染容器及び包装　：　空容器を廃棄する場合、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国連番号　：非該当
国連分類　：非該当
品名　：－
容器等級　：非該当
海洋汚染物質　：非該当
注意事項　：直射日光を避け、落下、転倒等による漏洩及び火気に十分注意し、慎重に運搬する。

15. 適用法令

適用法令なし

16.その他の情報

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、全ての情報を網羅しているわけではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
記載内容は情報提供を目的としており、取扱い上のいかなる保証をなすものではありません。この安全データシート（SDS）は、JIS Z7253：2012 に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010 に基づいて作成した化学物質等安全データシート（MSDS）と記載事項は同一です。